



# ドキュメント・震災対策本部

## いかに事業を復旧させていくか？

3月18日午後5時の「第18回対策本部会議」の様子。

### みやぎ生協・震災対策本部

震災により本部事務所が甚大な被害を受けた、みやぎ生協。直後に震災対策本部を立ち上げ、職員の安否確認を進めるとともに、懸命に店舗や共同購入の事業復旧に取り組んでいる。震災対策本部では、どのように事業を復旧させていったのか？震災後6日後からの様子を取材した。

本部が被災する中で  
震災対策本部を立ち上げる

大震災で、みやぎ生協本部事務所は柱の変形や天井や壁の一部が落ちるなど、半壊状態となった。そのため直後に、隣接するみやぎ生協文化会館「With」を臨時本部とし、専務理事の宮本弘みやもとひろむさんを本部長とする「2011年大震災みやぎ生協対策本部」（以下、対策本部）を立ち上げた。即座に職員の安否と、全事業所・関連施設などの被害状況の確認に動き出した。

以降、続々と集まる被害・安否情報の共有と、店舗や共同購入の事業復旧に向けた協議の場として、全事業・活動部署の責任者による「対策本部会議」を定期開催（震災直後は1日3回、14日からは朝10時と午後5時の2回）している。

この会議では冒頭の職員の安否確認の進捗報告に始まり、各部署の責任者より事業状況、建物や施設の被害状況、システムの復旧、商品確保、物流手配、組合員関



震災で大きな被害を受けた、みやぎ生協本部（A棟内部、写真上）と臨時本部が設置された、みやぎ生協文化会館「With」（写真右）。





専務理事  
宮本 弘さん



常務理事  
伊藤明世さん

係、マスコミ広報、行政からの支援要請対応の報告などが行なわれている。

なおこの会議には、日本生協連現地対策事務局、同・東北支所もオブザーバー参加し、日本生協連本部との調整に当たっている。

### 復興に向けた情報を共有し 問題点や課題を即決する場

#### ▼震災後6日目(17日)

会議の取材に入ったのは、3月17日午後5時の「第16回対策本部会議」から。会議では宮本専務の進行により、各都府県から現在の状況と今後の予定の報告を受け、その中で問題となることがあれば、参加者で解決策を論議するというスタイル

ルを取っている。最初に常務理事(店舗事業管掌)の伊藤明世さんから、

「営業店舗は29店に拡大しました。昨日(16日)から営業店舗をマスコミリリースしたことで、テレビでも情報が流れ、どの店舗でも大勢のかたがたが並ばれる状況だったようです。このような状況の中、各店とも職員たちが店の状況に合わせ、いろいろと工夫して店を開いています。これはとても素晴らしいことです。ただし商品が売り切れ、(営業時間として告知された)17時以前に閉店した店では、『5時まで営業するはずだろう』と問い詰められる状況もあったようです」との報告があった。これに対しては即座に、『商品がなくなった場合、営業終了時間の前に閉店させていただく場合もございませう』とテロップを流してもらおうようにマスコミにお願いすべし」との解決策が出された。

次に共同購入運営本部長の菅原藤人さんから、

「『お見舞い活動』(P.5参照)では、今日までに延べ1万4,500人の安否確認ができました。また、行政からの要請である、石巻と女川の避難所へのおにぎりの配達も、支援生協の協力も得ながら継続して行なっています。物資要請では、石巻、南三陸町、気仙沼などからは、すぐに食べられる物や飲料の要請がまだあり、パンやおにぎりなどを優先して送っています。一方、仙台市では物資の備蓄倉庫が満杯

状態で、別の場所を検討中のことです。食料品は足りつつあり、粉ミルクや離乳食、おむつ、おしり拭き、生理用品、肌着、靴下など、食料品以外の生活物資に要請がシフトしつつあります」との報告があった。

職員は1時間以上にも及んだ。この日までに過半数の部署で職員全員の安否が確認できたことが報告された。そのほかにも、各部署から事業復旧に向けてのさまざまな課題が報告され、会議は1時間以上にも及んだ。

### 店舗の部分営業もより円滑に、 共同購入も再開に向け動き出す

#### ▼震災後7日目(18日)

午後5時の「第18回対策本部会議」では、職員の安否確認で新たに1人の死亡が確認された(この時点で3人)。さらに震災後7日目ということもあり、冒頭に1分間の黙とうが行なわれた。

この日は、事業の本格的な再開を展望する報告も相次いだ。店舗事業では、

「30店舗での営業に加え、8店舗の営業準備が整いつつあります。また各店の営業も徐々にスムーズになってきており、組合員からも『よく開けてくれた!』という声が届いています」との報告があった。

また共同購入では、

「『お見舞い活動』で、メンバーの安否確認は1万7,000人となりました。また事業再開時に配送車に張る、震災からの復興に向けたスローガンの検討を始めました」。商品部からも、「22日に共同購入の再開判断をしたいと思いますが、商品は120品まで手配ができています。ただし、注文再開には、商品案内の紙やインクの手配が難しい状況で、一つひとつクリアしなければなりません」との報告があった。



共同購入運営本部  
本部長 菅原藤人さん



共同購入商品本部  
本部長 河野敏彦さん

同購入商品本部長の河野敏彦さんから、緊急の課題として、

「現在、職員の足（通勤車）を確保するため、ガソリンは『配給券（1枚で10リットルと交換）方式』で配布するようにしていますが、このままでは足りなくなる恐れがあります」との報告があった。

震災後1週間がたっても、県外からの燃料供給がほとんどストップしているため、19日に会員生協から支援で届くガソリンと軽油各6キロリットルだけでは、数日後には職員が職場に出勤できなくなる恐れがあるという。そこで宮本専務より日本生協連に対して、追加の燃料支援として3月24日までにガソリンと軽油各10キロリットルの手配を要請することが決まった。

## ライフラインの復旧に伴い 商品ニーズの変化に 대응

### ▼震災後8日目（19日）

午後5時の「第20回対策本部会議」では、店舗運営部長の山岸正治さんから、「店舗営業は、前日よりスムーズになっ  
ています。また、ライフラインの復旧（電  
気に続いて水道）により、売れ筋が変わっ  
てきています。一番大きな変化は、水の  
供給が急速に減ってきていることです。水  
道が復旧し、ご飯も炊けるようになったの  
で、食材や調味料も動き始めています。  
店舗に送り込む商品をその都度、変えて



店舗運営部  
部長 山岸正治さん



サービス保障事業部  
部長 尾川輝敏さん

いく必要があります」との報告があった。  
これに 대응できるように、復旧を急いでい  
た生協の生鮮加工センター、コープフーズ  
東北（CFI）でも電気が通り、20日か  
ら生肉のバック出荷が始まるという。また、  
こーぷ福祉（福祉事業）からは、  
「28日から、緑ヶ丘と桜ヶ丘の2カ所でデ  
イサービスを再開させることで進めていま  
す。ただし、当面の間は入浴サービスは  
中止となります」。さらに、サービス保障  
事業部長の尾川輝敏さんからは、  
「4月4日から共済契約者訪問活動を実  
施します。この活動を支援していただくた  
め、全国の生協に共済のスキルを持った方  
25人の派遣要請をしています」との報告  
もあった。

## 店舗、共同購入とも、 本格復旧に向け歩み出す

### ▼震災後9日目（20日）

この日、店舗事業では営業店舗数に変  
化はなかったが、

「販売はさらにスムーズになつていま  
す。前日まで『お1人さま10品まで』とし  
ていた店舗には今日から15品に、同様に  
前日15品だった店では20品というように、  
徐々に購入制限をなくしていくように本  
部から指示を出しています。中でも、大  
河原店、富沢店、西多賀店の3店舗は  
購入制限なしで営業  
しています。また、  
ガソリンの配給体制  
が落ち着いたことで、  
店舗に職員が泊ま  
り込まなくても済む  
状況ができてつあり  
ます」と、さらに営  
業状況が良くなって  
いることが報告され  
た。CFIでも生肉  
のバックに続き、明日  
（21日）から、ひき  
肉の出荷が再開され  
るという。  
また共同購入で  
は、事業再開を決め  
る「Xデー」を22日

に設定。この日にGOサインが出た場合、  
28日から注文書配布となるため、安否確  
認を早めるために電話での安否確認も開  
始したことが報告された。

## 復興に向けたスローガンを 共同購入再開時に打ち出す

### ▼震災後10日目（21日）

午前10時の「第23回対策本部会議」  
では、先に提案されていた共同購入での  
復興に向けたスローガンを、「悲しみを乗  
り越えてともに歩もう！希望・未来！



対策会議室のホワイトボードには、その日到着する支援生協の陣容が記されていた。

3/21到着の支援生協	
コープ長野 (17所 確着 28日 17時)	2名
コープいわき (25所 確着 ? ?)	2名
京都生協 (23所 確着 ? ?)	2名
コープあけび (到着済 22日 17時)	4名
ラーフコープ (17所 確着 26日 17時)	3名
コープあけび (21所 確着 ? ?)	5名
コープあさひ (12所 確着 23日 17時)	6名
計	24名



# 悲しみを乗り越えて ともに歩もう

— 希望・未来 —

みやぎ生協 共同購入部

現在、みやぎ生協の配送車に張られている、地域復興に向けてのスローガン(写真 早坂恵美)。

資料1



とすることが決まった(右写真参照)。このスローガンが張られた配送車が、共同購入の再開とともに被災地の中を走り、メンバーや地域の人びとにエールを送ることになる。

**共同購入を4月2週から再開  
店舗も4月から、ほぼ通常に**

▼震災後11日目(22日)

朝10時に開かれた「第25回対策本部

## 共同購入ご利用組合員のみなさんへ

このたびの大震災でお亡くなりになられた多くの皆様へ心より哀悼の意を表します。また、被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げますとともに、戦後最大という未曾有の被害の中で、懸命に復興に取り組んでいらっしゃる関係者の方へ厚く感謝申し上げます。

共同購入では、この大震災により、支部や物流施設、お取引先様等に、大きな被害を受けたことから、3月14日から4月8日まで商品のお届けができないことをお詫言申し上げます。また、4月11日(4月2週金曜日)より商品のお届けを再開いたしますが、「準備可能な商品」に限定して、臨時のカタログと注文書を配布いたします。商品調達の困難さから、全体数量も限定での企画となります。ご注文が予定数量を超過する場合は、抽選とさせていただきますので、ご了承ください。利用登録も当然の間止させていただきます。ご不便をおかけして申し訳ございませんが、できるだけ早く、通常のカタログでご注文いただけるように、1日も早い復興をめざして全力をつくしてまいります。今後とも、よろしくお申し上げます。

共同購入部

●アレルギー疾患の方は、必ず商品パッケージで原材料をご確認ください。 ●ご注文が予定数量を超過する場合は、抽選とさせていただきます。 ●利用登録商品は当然の間止させていただきます。 ●物流等の事情により、お届けできない場合がございますので、何卒ご了承ください。

### 注文方法

今回、お配りしている注文書には、商品名・価格が印刷されておりません。ご注文の際は、Weekの申し込み番号をご確認いただき、注文数欄に数量をご記入下さい。

1	数量限定20,000個限り	2	数量限定60,000個限り
3	数量限定12,000個限り	4	数量限定50,000個限り
5	数量限定20,000個限り	6	数量限定20,000個限り
7	数量限定10,000個限り	8	数量限定30,000個限り
9	数量限定10,000個限り	10	数量限定13,500個限り
11	数量限定20,000個限り	12	数量限定20,000個限り
13	数量限定20,000個限り	14	数量限定16,000個限り
15	数量限定10,000個限り	16	数量限定20,000個限り
17	数量限定10,000個限り	18	数量限定20,000個限り

### Week 2011年4月2週A

週	1	2	3	4	5	6	7	8
2011年	4	5	6	7	8	9	10	11
2011年	12	13	14	15	16	17	18	19

1	青森県産 りんご【ふじ】	398円	2	フジビレ産 パナナ	248円
3	アメリカ産 グレープフルーツ(赤)	398円	4	国内産 デコボン	498円
5	国内産 甘夏	398円	6	千葉・神奈川県産 春キャベツ	298円
7	福岡・熊本県産地 ふそろトマト	580円	8	福岡・熊本県産地 トマト	398円
9	福岡・熊本県産地 きゅうり	198円	10	熊本・栃木県産地 ミニトマト	198円
11	宮崎・埼玉県産地 きゅうり	198円	12	宮崎・埼玉県産地 曲がりきゅうり	298円
13	宮崎・埼玉県産地 きゅうり	198円	14	北海道・栃木県産地 にら	99円
15	埼玉・千葉県産地 長ねぎ	198円	16	青森県産地 にんにく	198円
17	高知・富山県産地 根しよが	128円	18	青森・岩手・北海道産地 生しいたけ(菌床栽培)	198円

「4月2週から共同購入を再開します。それに向けて、3月28日から商品案内(資料1)と注文書の配布を行います。企画アイテム数は197品で、商品写真は掲載せず、しかも注文上限数を設け、これより注文が多い場合、くじ引きでのお届けとなります。なお、5月1週には通常の52ページ立てでご案内できるように進めていきます」との報告があると、参加者一同から安堵の声が上がった。

また店舗事業では4月1日から、より通常営業に近い形での営業に戻すことが

報告された。その他にも、各部から事業復旧の進捗状況が報告されたが、それらを含めても会議は30分足らずで終了している。

その後の報告によれば、「対策本部会議」は25日から毎日1回(朝10時)開催となり、28日からは隔日(月水金)開催となり、4月1日朝10時の第36回をもって終了している。以降は、常勤理事会を中心とした通常のマネジメントでの対応に戻していくという。みやぎ生協の事業復興への足取りは、より一段と早まってきている。



日配商品売場の品ぞろえも急速に元に戻りつつある(4月1日、明石台店)(写真 早坂恵美)。

みやぎ生協  
いわて生協  
コープふくしま  
コープネット